

SBC 東京医療大学 健康科学部

2026 年度 学校推薦型・社会人特別選抜

基礎力評価Ⅱ型（11 月 16 日）

現代文 問題冊子

〈注 意 事 項〉

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子の表紙の指定された欄に、受験番号・氏名を記入しなさい。
3. 「受験票」は、机の上の見やすい所に置きなさい。
4. 試験監督者の指示したもの以外は、机の上に置いてはいけません。
置いてはいけない物品：スマートフォン、時刻表示以外の機能がついた時計（スマートウォッチ）など
これらのものは身につけてもいけません。
5. 解答用紙（マークシート）には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。マーク部分は、BもしくはHBの鉛筆で塗りつぶしなさい（シャープペンシルは不可）。
 - ① 受験番号欄—受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
 - ② 氏名欄—氏名、フリガナを書きなさい。
 - ③ 志望欄—志望学科名をマークしなさい。
 - ④ 選択科目欄—「国語」にマークしなさい。
6. 解答はすべて、解答用紙（マークシート）の該当欄をBもしくはHBの鉛筆で塗りつぶしなさい（シャープペンシルは不可）。
7. 問題用紙に印刷不鮮明、落丁・乱丁または解答用紙の汚れなどがある場合は手をあげてください。
8. 問題冊子は試験終了後に回収します。

受験番号	
氏 名	

この試験問題には、第1問～第3問を通して問いが1～26まであります。解答は、すべて解答用紙(マークシート)の、問いごとに指定された解答番号の解答欄にマークしなさい。たとえば、解答番号 1 と指定のある問いに対して③と解答する場合には、マークシートの解答番号1の解答欄の3にマークしなさい。

第1問

問1～問2に答えなさい。

問1 次の1～5の傍線部の漢字と同じ漢字を含むものをそれぞれ一つ選びなさい。解答番号は順に1～5

1 兄はバクゼンとした不安を抱えているようだ

- ① 服に穴が開いたのでツクロウ
- ② この大木はテンネン記念物に指定されている
- ③ 行列がマエに進んだ
- ④ 子どもがヨい行いをした

2 私の妹は左キきだ

- ① 解熱剤がキいた
- ② 電話で事故の第一報をキいた
- ③ 有権者の声をキいた
- ④ 鑑定士として、骨董品を見る目がキいた

3 交通ジュウタイでバスが遅れて到着した

- ① クジュウの決断で大会を中止にした
- ② 北海道にエイジュウする
- ③ ジュウジツした大学生活を送る
- ④ ジュウリョウ挙げの大会に出場する

4 課題の解決策が見つからず、ゴリムチュウの状態だ。

- ① 子どもたちは遊びにムチュウだ
- ② 夜間のキンムは辛い
- ③ ノウムで道に迷う
- ④ 両親にウムを言わせず連れてこられた

5 金銭スイトウ帳で家計を管理する

- ① A氏を立候補者にオした
- ② 原点に戻って、そこからシュツタツする
- ③ 彼女はツイに目標を達成した
- ④ 彼が部下に対して講釈をタれている

問 2 次の 1 ～ 5 について、答えなさい。解答番号は順に **6** ～ **10**

6 1 次の語句の意味として正しいものを一つ選びなさい。

パラダイム

- ① 不快な刺激に対する生体の示す反応
- ② 目標が妨げられたときの感情
- ③ 動機を与えること
- ④ ある時代に支配的な物の考え方・概念的な枠組み

7 2 次の二つの熟語の組み合わせで、対義語の関係になっているものを一つ選びなさい。

- ① 慇懃 ー 丁寧
- ② 起工 ー 竣工
- ③ 寄与 ー 貢献
- ④ 思慮 ー 分別

8 3 次の作者と作品の組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| ① 石川啄木 | 「みだれ髪」 | ② 宮沢賢治 | 「春と修羅」 |
| ③ 与謝野晶子 | 「智恵子抄」 | ④ 高村幸太郎 | 「一握の砂」 |

9 4 次の文章の傍線部の品詞として正しいものを一つ選びなさい。

その作品は、とても美しい描写で人々を感動させた。

- ① 副詞
- ② 形容詞
- ③ 連体詞
- ④ 助詞

10

5

次の四字熟語と意味の組み合わせとして正しいもの一つを選びなさい

- | | | | |
|------------------|---------------|--------------------------|---------------------|
| ④ | ③ | ② | ① |
| 茫然自失 | 波乱万丈 | 旧態依然 | 暗中模索 |
| ┆ | ┆ | ┆ | ┆ |
| もとのままで変化や進歩のないさま | 劇的な変化に富んでいること | 手掛かりのないまま、いろいろなことを試みることに | あつげにとられて、我を忘れてしまうさま |

第2問

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。※のついた語には文末に注があります。

(出題にあたり一部省略)

連載のための資料を整えているうちに、私は二〇〇八年九月二十九日付の「タイム」の切り抜きを発見した。「出産時の死(Death in Birth)」と題する記事で、見出しに視覚的に死と生が簡潔に並べられているのが印象的だった。何でこんなものを取っておいたのか、私はすぐには理由が思い出せなかったのだが、記事の最後のまとめのような数行を見ると、私がこの記事捨てられなかった理由がよくわかった。

「WHOによると、一九八五年には、五十万人の女性たちが出産時に死亡した。その後、医療の進歩があつたにもかかわらず、二〇〇五年には、死亡数は五十三万六千人に増えていた」

私はアフリカでこの事実をあちこちで見聞きした。今でも、アフリカの貧しい家庭では自宅で出産する。或いは、(ア)素朴な設備を持つ産院でも帝王切開の手術ができないところが多いから、難産になると産婦たちは苦しみ抜いて、結果的には母子共に命を落とすのである。

或る婦人科の医師は「出産の時の出血を甘くみると、恐ろしい結果になる。出産時の出血は、まるでホースで水を撒くような勢いになって止めようがない。あつという間に血管の確保ができなくなる」と言っている。だから最近の先進国の出産では、別に何事もないうちから静脈に輸血用の針を(イ)確保しておきたがるのだという。

とにかくお産が大体において無事に終わると考えるのは、医療設備の行き届いた社会の考え方だ。

A では、子供を生むことは往々

にして命がけである。だから※JOMASは、※マダガスカル²のアンツイラベにあるアベ・マリア産院から「せめて帝王切開だけでもできる手術室を作つて欲しい」と言われ、それに応じたのだ。そしてその手術室を利用して、二〇一一年の五月末から六月にかけて、昭和大のドクターたちによる※口唇口蓋裂³の手術が行われた。JOMASの新しいプロジェクトの素朴な出発点は、まさにこの一つの記事から始まっていたのかもしれない、と私は思った。

A において、出産時の危険の次くらいに人々が始終直面していたのは、栄養失調と結核であった。栄養失調は今もなおアフリカで続いている潜在的な(ウ)脅威である。しかしそれだけに、他のNPOの中には、「マスコミがもつともニュース性の高い極端な(エ)飢餓の症状を見せる土地として、ジャーナリストに報道し続ける国」を選んで駆けつける傾向があつた。彼らは事実、その土地のために募金運動を開始し、大々的に毛布や食料を送ったりしたのである。(1)しかしJOMASはそれをしなかった。それほど極端な飢餓ではなくても、たえず慢性的に栄養失調に《a》陥っている国は、どこにでもあるからだった。

マダガスカルで手術を担当したドクターたちは、おもしろい裏話を聞かせてくれた。麻酔科のドクターたちは、手術の前日必ず、「明日は朝から子供には食事をさせないように」と注意している。しかしその朝手術前に念のために聞いてみると、「朝食は食べさせました」などと平気で言う親もいたのである。「しかし……」とドクターたちは不思議がる。食べさせましたとは言うけれど、血液検査をしてみると、※⁴血糖値が六十五くらいしかない。「いったい何を食べさせてきたんでしょね」というほどの貧しい食事だということがよく見えるのである。

栄養失調になると、知能も遅れるという説もある。先進国の子供たちがよく勉強できるのは、設備のいい学校や高学歴の親の子として生まれたからではなく、脳に充分な蛋白質^{たんぱくしつ}が与えられるから、と言えなくもない。しかし栄養失調のほんとうに深刻な結果は、結核の発症である。

(中略)

※⁵コートジボワールの北側には、※⁶ブルキナファソという穏やかな農業国があるが、そこでは、私たちは※⁷脳脊髄膜炎^{のうせきずいまくえん}(フランス語では、メナンジット・セブレロ・スピナル)と呼ばれる病気に出会った。まず高熱が出て、首筋が硬くなる。脳脊髄膜炎には抗生物質が効くので、日本ならほんとうは大きな問題にはならない病気だろう。しかし健康保険の制度などない社会で、親たちは、病気の子供のために三千円ほどの薬代を払えと言われる。月の全収入さえ、時とすると三千円はない人たちだから、薬代に三千円はどんなことをしても払えない。

その話を聞いた時、私はブルキナファソの国立病院の小児科で勤務していた※⁸シスター黒田小夜子^{さよこ}に、もし私たちJOMASが、三十万円ほどをシスターに《b》預託し、どうしても三千円を払えないという子供が現れた時には薬代を払って頂いたらどうでしょう、と尋ねた。

するとシスターは言下にそれを否定した。

そんなことがわかれば、患者たちはたとえお金を持っていたとしても、ないから払ってくれ、と言うだろう。一方病院側でも、小児科の医長が、結果的には貧しい病児の家族からもJOMASからお金を取るという行為に出るだろう。だからやめた方がいい、というのである。貧しい人は決して、正直でもなく、その人たちをいやすべき医者**B**でもないのである。

ブルキナファソでは、何が貧しい人たちの収入になるかを考えたことがある。この国は農産物の豊かなところで、JOMASは志ある青年たちだというシスターのお墨付きの若者たちが実験的集団農場をやるために、七十万円ほどを出して土地を買ったことがある。

ところがしばらくすると畑の※⁹ぐるりに塀をつけたいという要請があった。なぜ畑に塀が要るのかをJOMASの運営委員たちが理解しなくて当然だ。日本では塀つきの農地などない。しかし一般的に言って、農民の土地に牧畜民が飼っている牛や山羊などが入り込んで、農作物を食べてしまうことは往々にしてある。私がその状況を説明して、とにかく荒い有刺鉄線ていどの柵を立てることは許してもらった。

しかしそれだけではなかった。シスターからは、再び畑のために夜警をつけたい、という要請が来た。畑に夜警？ 大金持ちのお屋敷ならガードマンを置くこともある。しかし痩せ地に南京豆なんきんまめを作っているような農地に、どうして夜警が要るのだ。

アフリカではどんな作物であれ、収穫の直前に誰かがやってきて、ほとんど根こそぎ持って行ってしまうことがある。そうなったら、誰も汗水垂らして耕作などしなくなって当然だ。だからアフリカでは、※¹⁰ひがな一日、ぼんやりと木陰に座って怠けている人がいるのだろう。

ブルキナファソには国中にみごとなマンゴーの木があった。しかしその実の市場価格を聞くと、**(2) 私は黙するほかはなかった。**実は一個一円か二円にしかないのであった。

アフリカは放置したらいいんだ。まず政治家にやる気がない。汚職ばかりしている。国民は踊ってばかりいる怠け者だ。そんなところに援助したって、何の解決策にもならない、と言う人は私の周囲にも何人かいる。

日本でもつい最近、復興担当相が、東日本大震災の被災地に対して「知恵を出したところは助けるが、知恵を出さない奴は助けない」と言って追放された。もちろん言い方が荒かったのだろうと思うが、今回は全マスコミが例外なく大臣を叩く側まわに廻った。

被災者だろうとアフリカ人だろうと、この大臣の言葉の元になったベンジャミン・フランクリンの、「天は自ら助くる者を助く」という言葉は深い真実を持っている、と私は思っている。とは言っても、自らを助けない人を放置する社会では、もはやないことも事実だ。

私の立場ははっきりしている。貧しい国々の生活に関する限り、私は深くも遠くも考えないことにしたのだ。今日生きている人は、今夜の食事がないと辛い。熱のある病人は、今この一時が苦しい。だからさしあたり食べさせ、薬を与えて熱を取り、明日から自分の将来を考えて貰おう、というだけのことに、私たちは約四十年働いてきた。

日本にはその間、JOMASに寄付をしてくれた何千人という※¹¹惻隱の情を持った人たちがいた。私たちが会社の大口の寄付も、国家からのいかなるお金もあてにせずにやってこれたのは、ひたすら輝くような個人の優しさの積み重ねがあったからだ。私たちは両手を合わせてその温かい思いを感謝と共に受け、その恵を一滴たりともこぼさずに使おうとしてきたからだだった。

しかし私の個人的な心情にはもう一つ隠れた理由もある。貧しく、汚職だらけで、時には怠け者という社会にも、あのすばらしく澄んだ夜明けがあった。私はあの※¹²清澄と燃え上がるような生命のきざしを見せるアフリカの**(3) 払暁**^{ひつぎよう}を見られただけでも、生きてきてよかった。そのため少しは働いて当然だったのである。象徴的にも、「朝はアフリカの歓び」であることを、私は確実に見たのである。

(曾野 綾子『朝はアフリカの歓び』より)

※JOMAS¹ — 海外で働くカトリックの宣教師たちの活動を経済的に助けるNGO。海外法人宣教師活動援助後援会

(Japan Overseas Missionary Activity Sponsorship 通称JOMAS)

※マダガスカル² — アフリカ大陸の南東方、インド洋にある大島。民主共和国。

※口唇口蓋裂³ — 顔面奇形の一つ。先天的に口唇が縦に裂けているもの。

※血糖値⁴ — 血液中に含まれる糖類の量。健常者では空腹時血糖値は70-110mg/dL程度といわれている。血糖値が70mg/dL未満の状態になると低血糖と判断される。

※コートジボワール⁵ — アフリカ大陸西部、ギニア湾に面する共和国。

※ブルキナファソ⁶ — アフリカ西部の国。ボルタ川上流にある内陸の国。

※脳脊髄膜炎⁷ — 脳と脊髄を覆う髄膜が炎症を起こす病気。

※シスター⁸ — キリスト教の教会で一定の規律を守って厳格な共同生活を送る女性のこと。修道女。

※ぐるり⁹ — まわり。周囲。四辺。

※ひがな一日¹⁰ — 朝から晩までずっと。一日中。

※側隠¹¹ — かわいそうに思うこと。同情すること。

※清澄¹² — 澄みきって清らかなこと。

問1 傍線部(ア)～(エ)の中で構成が異なる熟語を一つ選びなさい。 解答番号は **11**

- ① (ア) 素朴 ② (イ) 確保 ③ (ウ) 脅威 ④ (エ) 飢餓

問2 傍線部《a》、《b》の読みとして正しい組み合わせのものを一つ選びなさい。解答番号は **12**

《a》陥って 《b》預託

- ① おちいって ― いたく
- ② かかって ― よたく
- ③ かかって ― いたく
- ④ おちいって ― よたく

問3 空欄 **A** に入る語として最も適切なものを選びなさい。解答番号は **13**

- ① 富裕国
- ② 新興国
- ③ 途上国
- ④ 共和国

問4 傍線部(1)の文中の「それをしなかった」とあるがそれはなぜか。最も適切なものを選びなさい。解答番号は **14**

- ① 極端な飢餓だけでなく、慢性的な栄養失調という、より短期的な問題に対処する必要があったから
- ② 慢性的な飢餓だけでなく、極端な栄養失調という、より短期的な問題に対処する必要があったから
- ③ 極端な飢餓だけでなく、慢性的な栄養失調という、より長期的な問題に対処する必要があったから
- ④ 慢性的な飢餓だけでなく、極端な栄養失調という、より長期的な問題に対処する必要があったから

問5 空欄 **B** に入る語として最も適切なものを選びなさい。解答番号は **15**

- ① 打算的
- ② 裕福
- ③ 人道的
- ④ 安寧

問6 傍線部(2)の文中の「黙するほかはなかった」とあるがそれはなぜか。最も適切なものを選びなさい。解答番号は **16**

- ① 活動しても変わらない現状に、自分の無力を実感したから
- ② 正当な市場価格になっていないため、流通経路を見直さなければならぬと考えたから
- ③ 市場価格が正当でないため、盗んで生きることこそが正しい生き方だと思ったから
- ④ 想像よりも市場価格が低く、労働することの価値も失われている現実を実感したから。

問7 傍線部(3) **払暁**^{ふつぎょう}が表す時間帯として最も適切なものを選びなさい。解答番号 **17**

- ① 宵の口
- ② 明け方
- ③ 黄昏
- ④ 夜更け

問8 筆者がJOMASの活動を続ける理由として、本文に述べられている内容と照らして **ふさわしくない** ものの一つを選びなさい。解答番号は **18**

- ① 飢餓や病気で困っている人々にお金を渡し、救いたいと考えたから
- ② 目の前で苦しむ人々に、今できる支援をしたいと思ったから
- ③ 寄付にこめられた個人の優しさを無駄にせず大切にしたいと思ったから
- ④ アフリカの自然の清らかさと生命力に心を打たれたから

第3問

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。※のついた語には文末に注があります。（出題にあたり一部改変、もしくは省略）

私たちは皆、誰かに産んでもらったおかげで生きている。だから、好むと好まざるとにかかわらず、私たちは皆、誰かの子である。その私たちの多くは、いつか誰かの親となる。この(1)「多く」というのには少し説明がある。「私は、生涯、シングルのつもりです」「子どもはいりません」「望んでも子どもができないかもしれません」という人もいるかもしれないが、こういう人も、広い意味での親となることができる。

たとえば、子どもがいなくても、サークルや地域や職場などに関わっていれば、前からそこにいる者（つまり、ア）はあとから来た者（つまり、後生）の面倒をみなければならぬ。サークルでは先輩と呼ばれ、時には恋愛の相談にまで対応せねばならぬ。会社に入ってから大きな失敗がなければ上司となり、否応なく大きな責任が生じる。これらの役割は、生物学的・法律的には親ではないが、そこで果たしている役割は広い意味で親的であり、教育的だ。

それに、親が年をとったり病気になるったりして面倒をみるようになったとしよう。生物学的にも法律的にも、親は死ぬまで、いや死んでしまっても親だが、面倒をみてくれた立場から面倒をみられる立場に変化するという意味では、役割は逆転するともいえる。親ばかりではない。自分もいずれは、周囲の世話を受けなければならないようになる。子どもが親的な役割を担い、親は子どもに還る。家庭や地域や職場でエンジン全開でいける期間は意外に短い。干支が五回めぐって六〇歳になると還暦^{えと}といって、赤いちゃんちゃんこが贈られたりする風習があるが、これは、人間が子として生まれ、親的役割を果たし、また子へと還るのだというサイクルを示しているだろう（今の六〇歳は四〇代よりはるかに元気な人が多いが）。

いずれにしても、私たちの多くは、一定の期間、広い意味での親になるといつてよい。その期間が長い人もいれば、短い人もいる。面倒をみる相手が多い人も少ない人もいる。面倒の種類も、しつけやスポーツのプレーの仕方、仕事の交渉の仕方等々、さまざまだ。

ただし、私たちは、生まれつきか生後のある時期の病気や事故のために、親的な役割を担おうにも、その可能性を制限される場合がある。その場合、周囲に対してできることは限られる上に、生涯のかなりの期間、周囲の世話を受けなければならない。しかし、それは私たちの意図の結果ではなく、意に反した結果だ。だから、「私たちの多くは、いつか誰かの親となる」というのは、人間が運命から自由でないがゆえに、「私たち皆が」とはいえないということだ。

そうした運命の介入にもかかわらず、私たちは、障がいや重病を負った人々が周囲と関わり、あるときは親的な役割を担っているのを実際

に目にする。そうした姿を目にすると、広い意味で「親になること」は人間の可能性や権利を超えて、それを十分に果たせるかどうかはともかく、ひとつの責任なのではないかとも思えてくる。

さて、親的な役割は、人間に生まれて一定期間が過ぎれば自動的に担えるようになるわけではない。生物学的には間違いなく親でも、親の役割を放棄したような親失格者は少なくない。親的な役割を担うには、それだけの能力がついていないといけない。そうでないと役立たずで、みじめなものである。しかし、能力だけでもいけない。能力があっても、愛されるか信用されていないと、面倒をみられる側からは敬遠される。さびしいものである。【①】

【イ】、親的な役割を果たせるようになりたいと思って、お手本になるような人はどこにいらっしゃるだろうと思い、ふと周囲に目をやる。すると、人命を預かる立場にあり、それを実行できる能力もあるはずの人間が、およそ親的とはいえない無責任な言動をとる姿に接し、気分を害されることが少なくないのに気づく。教育者の暴力。教師や上司という立場を悪用したセクシャル・ハラスメントやパワー・ハラスメント。社員を消耗品としてしかとらえていないのではないかと思わせるような劣悪な条件で働かせ、消費者には虚偽表示の商品を売りつける企業。生命と安全と自由を守るのが仕事であるはずの行政の怠慢。そして、遠巻きに眺めて論評する評論家やマスメディア。【②】

「いったい何が信頼に値するのか」という疑問が沸く。その疑問は「何も信頼できない」という不信となり、「自分のことだけやっておこう」「周りのことは最低限で」という私生活主義につながる。私たちの周りに、親的な役割を果たしている者はどれほどいるだろうか。

そんなことを考えていたときに、学生の書いたレポートで目に留まった間違いがある。それは「2シンミ」である。（中略）きちんと書ける学生が思いのほか少ない。

（中略）

なぜ、こうした間違いが出てくるのだろうか。もちろん「たまたま間違っただけ」ということもできるだろう。しかし、言葉が何らかの【ウ】を言い表したものであるなら、単なる間違いということではすまないように思える。それは、私たちの日常に「シンミ」を見出すのが困難なのとまったく無関係とはいえないのではないだろうか。私たちの日常は、他人からシンミになって心配されたり、逆に他人のことをシンミになって心配する経験に乏しいのではないだろうか。

この状態は、社会における「教育的態度の喪失」と見なすことができるだろう。（中略）しかし、それ以上に重要なことは、どうすれば一人ひとりが教育的態度を少しでも自分のものにできるかということではないだろうか。

もっとも、これは教育的態度が現代社会のなかでも意義を持つているという前提での話だ。教育者や上司といったウザい存在に縛られずに、言いたいことを言って、やりたいことがやればいいというのなら、教育的態度などを改まって考える必要はない。いわゆる私生活主義を徹底すれば、そういう生き方になるし、現にそういう生き方をするという人もいる。【③】

そこで※本書は、私たち一人ひとりが教育的態度の意味を理解し、そうした態度をとるためには、どのような思考の枠組みを持たなければならぬかを考えることを課題としている。その思考の枠組みを検討する作業が、本書が表題に掲げる「教育的思考のトレーニング」である。教育的思考といっても、その意味はさまざまに論じられるだろうが、とくに本書では、①傍観者や観察者ではなく当事者・責任者としての視点、②他者に価値的变化をもたらそうとする視点、③他者との関わりの中かで自己も変化していくという視点を強調する。教育的思考については、もっと綿密に定義するべきだという意見もあるだろう。しかし、本書では、**③あえてそうしたアプローチをとらない**。というのは、自然科学を中心とした科学的な思考様式には、むしろ教育的思考を妨げる側面があるからである。

科学は、研究対象を客観化することから始まる。これは、自分を観察者として位置づけるということである。たしかに、事実を「〜である」と記述するためには、そうした態度が必要だろう。しかし、この態度は目の前の事態に「シンミになって」関わるのとはまったく異なる。

二〇〇六年夏、チェコ共和国の首都プラハで、国際天文学連合（IAU）の総会が開かれた。この席上、それまで「水・金・地・火・木・土・天・海・冥」（最後の二つは逆に教えられた人もいただろう）と教えられてきた第九惑星の冥王星が惑星の座から滑り落ちた。軌道が他の惑星と異なる上に、大きさも他の惑星の衛星に及ばないことなどが理由とされた。今後、冥王星は準惑星などと呼ばれるという。

これは、天文学者の冷静な観察のなせる技である。「冥王星さん、惑星じゃなくなっちゃったかわいそう」などとは誰も思わない。突き放して冷静に見る。実際、科学というのはそういう営みだ。

しかし、**シンミ**な態度をとろうというときは、そうはいかない。患者が苦しんでいるのに「苦痛に顔をゆがめております」と実況中継する医師は医師としては務まらない。これに対して、今は決して多くないが、よその家の子でも悪さをすれば注意するという大人がいる。これらの大人たちには、よその子どもでも傍観したり観察していたりしてはすまないという思いがあるのだろう。【④】「ここから分かるように、教育的態度というのは明らかに主観的であり、多くの場合、情緒的・情熱的なものであり、ある意味で、いらないお節介を焼くことなのだ。

そういうわけで、本書がテーマとするような人間と人間の関わりをめぐるような問題においては、自然科学的アプローチが必ずしも有効で

ないことが理解されるだろう。(後略)

(相馬伸一『教育的思考のトレーニング』より)

※本書 — 本文の出典である相馬伸一『教育的思考のトレーニング』のこと。

問1

以下は本文から抜けている文である。挿入する位置として最も適切な箇所を本文中の【①】～【④】の中から選びなさい。

解答番号は **19**

しかし、皆がそんな生き方をして社会が成り立つわけがないことは、誰もが感じているはずである。

問2

傍線部(1)のように「多く」という理由の説明として、最もふさわしくないものを選びなさい。解答番号は **20**

- ① 誰もが子どもを持たないから
- ② 誰もが後輩や部下の面倒をみるかもしれないから
- ③ 誰もが病気になったり事故にあったりするかもしれないから
- ④ 誰もが年老いていずれば周囲の世話を受けることになるから

問3

空欄 **ア** に入る語として最も適切なものを選びなさい。解答番号は **21**

- ① 先生
- ② 先人
- ③ 先輩
- ④ 年長者

問4

空欄 **イ** に入る接続詞の種類として、最も適切なものを選びなさい。解答番号は **22**

- ① 順接
- ② 逆接
- ③ 転換
- ④ 補足

問5 傍線部(2)「シミ」を漢字に改めた場合、最も適切なものを選びなさい。 解答番号は **23**

- ① 親見 ② 真見 ③ 親身 ④ 心観

問6 空欄 **ウ** に入る語として最も適切なものを選びなさい。 解答番号は **24**

- ① 気持ち ② 経験 ③ 真実 ④ 概念

問7 傍線部(3)「あえてそうしたアプローチをとらない」と筆者が言う理由として、最も適切なものを選びなさい。 解答番号は **25**

- ① 自然科学的な思考の様式においては、研究対象を客観化し、事実を主観的に「くである」と記述するとかえるから
② 冥王星が惑星から準惑星に降格されたことに象徴されるように、自然科学的な思考において定義は変更されうると考えるから
③ 自然科学的な思考の様式には、かえって冷静な思考を遮る側面があるとかえるから
④ 人と人との関係に起因する事柄は自然科学的な思考の枠組みでは十分に説明できない領域に属しているとかえるから

問8 本文に書かれている内容の要旨として、最も **ふさわしくない**ものを選びなさい。 解答番号は **26**

- ① 生物学的な親子関係に限らず、他者を導き支える役割をほとんどの人が生涯の中で担っている
② 親的な関わりは感情や信頼を含む複雑な営みであるからこそ、私たちは客観的に見る力をトレーニングしなければならない
③ 信頼を欠いた社会状況の中では、人々は他者への責任や思いやりを避け、私生活主義的な態度に陥ってしまう
④ 教育的態度とは、当事者として他者と共に成長しようとする情熱的な姿勢のことである